

最近のビザ緩和(一般旅券所持者)

2024年12月10日 外務省

開始日		国名	緩和措置 (最長滞在・有効期間)
2024年	12月10日	ブルネイ	I C旅券ビザ免除(30日)(滞在期間14日から30日に緩和)
	6月24日	ウクライナ	①商用目的の数次ビザの緩和(90日・5年)(発給対象者の拡大等) ②親族訪問目的の数次ビザの緩和(90日・3年)(滞在期間90日、発給対象者の拡大等) ③相当な高所得者向け数次ビザの緩和(90日・5年)
	6月10日	フィリピン	相当な高所得者向け数次ビザの緩和(90日・5年)
	4月1日	パナマ	I C旅券ビザ免除(90日)
2023年	12月4日	サウジアラビア	相当な高所得者向け数次ビザの緩和(90日・3年)
	9月30日	ブラジル	I C旅券ビザ免除(90日)
	6月30日	モンゴル	①商用目的、文化人・知識人数次ビザの緩和(90日・5年)(最長有効期間5年への延長、発給対象者の拡大等) ②数次ビザの緩和(30日・5年)(最長滞在期間30日・最長有効期間5年への延長、発給対象者の拡大等) ③相当な高所得者向け数次ビザの緩和(90日・5年)
	4月2日	カタール	I C旅券事前登録制によるビザ免除(30日・3年)
2022年	11月1日	アラブ首長国連邦	I C旅券ビザ免除(30日)
2019年	9月1日	ロシア	①8項目の「協カプラン」に関するロシア企業等の常勤者等に対する数次ビザ導入 ②大学生等に対する一次ビザ申請手続きの簡素化
	8月1日	ラオス	商用目的、文化人・知識人数次ビザの緩和(90日・5年) (最長有効期間5年への延長、発給対象者の拡大等)
	4月1日	カタール	①数次ビザの緩和(90日・5年) ②商用目的、文化人・知識人数次ビザの緩和(90日・5年) (最長有効期間5年への延長、発給対象者の拡大等)
	2月1日	コロンビア	①数次ビザ導入(90日・3年) ②商用目的、文化人・知識人数次ビザの緩和(90日・5年) (最長有効期間5年への延長、発給対象者の拡大等)
2019年	1月1日	中国	①一部大学生・卒業生等の個人観光一次ビザ申請手続き簡素化の対象校拡大(30日) (75校から1243校に拡大) ②十分な経済力を有する者向け数次ビザの発給対象者の拡大(30日・3年) (過去3年に2回以上の訪日歴に対し、経済力証明書の提出を免除)

開始日		国名	緩和措置 (最長滞在・有効期間)
2019年	1月1日	インド	①数次ビザの発給対象者の拡大(90日・5年) (過去3年間に2回以上の訪日歴に対し、他の要件なしに数次ビザを発給) ②数次ビザの申請書類の簡素化 (原則として納税証明書のみで渡航支弁能力を証明可)
		香港、マカオ	香港D I・マカオ旅行証所持者に対する数次ビザの導入 ①商用目的/文化人・知識人向けの数次ビザ(90日・5年) ②親族訪問目的等数次ビザ(90日・3年) ③一般短期数次ビザ(90日・3年)
		セントクリストファー・ネイビス	商用目的、文化人・知識人数次ビザの緩和(90日・5年) (最長有効期間5年への延長、発給対象者の拡大等)
2018年	10月1日	セントビンセント、 エクアドル	商用目的、文化人・知識人数次ビザの緩和(90日・5年) (最長有効期間5年への延長、発給対象者の拡大等)
		アゼルバイジャン、 アルメニア、ジョージア	数次ビザ導入(30日・3年)
		ロシア	団体観光パッケージツアー参加者用短期滞在一次ビザの導入(15日又は30日)
	8月1日	太平洋島嶼国(注)	数次ビザ導入(30日・3年)
		フィリピン	商用目的、文化人・知識人数次ビザの緩和(90日・10年) (最長有効期間10年への延長、発給対象者の拡大等)
		サウジアラビア	商用目的、文化人・知識人数次ビザの緩和(90日・5年) (最長有効期間5年への延長、発給対象者の拡大等)
	1月1日	インド	①数次ビザの申請書類の簡素化 (「申請人の在職証明書」及び「数次の渡航目的を説明する資料」の廃止) ②数次ビザの発給対象者の拡大(90日・5年) (過去1年間に2回以上の訪日歴に対し、他の要件なしに数次ビザを発給)
		ウクライナ	①数次ビザ導入(30日・3年) ②商用目的、文化人・知識人数次ビザの緩和(90日・5年) (最長有効期間5年への延長、発給対象者の拡大等) ③自己支弁による渡航の場合、身元保証書等の省略
		モルドバ、 ベラルーシ	①商用目的、文化人・知識人数次ビザの緩和(90日・5年) (最長有効期間5年への延長、発給対象者の拡大等) ②自己支弁による渡航の場合、身元保証書等の省略

(注)太平洋島嶼国:パラオ、サモア、バヌアツ、ミクロネシア、フィジー、キリバス、ツバル、ナウル、ソロモン諸島、パプアニューギニア、マーシャル及びトンガ(12か国)。

開始日		国名	緩和措置 (最長滞在・有効期間)
2017年	12月1日	アゼルバイジャン	①商用目的、文化人・知識人数次ビザの緩和（90日・5年） （最長有効期間5年への延長、発給対象者の拡大等） ②自己支弁による渡航の場合、身元保証書等の省略
	9月1日	アルメニア	
	6月5日	ウズベキスタン、 カザフスタン、 キルギス、 タジキスタン、 トルクメニスタン、ジョージア	
	7月1日	アラブ首長国連邦	
	5月8日	中国	①十分な経済力を有する者向け数次ビザの導入 （訪問地要件のない新しい数次ビザの導入。） ②相当な高所得者向け数次ビザの緩和 （初回の渡航目的を観光に限定しない。航空券、宿泊先等の自己手配を可とする。） ③東北六県数次ビザ （青森県、秋田県、山形県を追加。過去3年以内の訪日歴要件を廃止。） ④中国国外居住者に対する数次ビザの導入 （相当な高所得者（90日・5年）／十分な経済力を有する者（30日・3年）） ⑤クレジットカード（ゴールド）所持者の一次ビザ申請手続き簡素化
	2月1日	インド	大学生・卒業生等の一次ビザ申請手続き簡素化（30日）
		ブラジル	数次ビザの発給要件の緩和（90日・3年）
	1月1日	ロシア	①数次ビザ導入（30日・3年） ②商用目的、文化人・知識人数次ビザの緩和（90日・5年） （最長有効期間5年への延長、発給対象者の拡大等） ③自己支弁による渡航の場合、身元保証書等の省略
2016年	10月17日	中国	①商用目的、文化人・知識人数次ビザの緩和（90日・10年） （最長有効期間10年への延長、発給対象者の拡大等） ②一部大学生・卒業生等の個人観光一次ビザ申請手続き簡素化（30日）
	10月3日	カタール	数次ビザ導入（90日・3年）
	2月15日	ベトナム、インド	数次ビザ発給要件の緩和（90日・10年） （我が国初となる最長有効期間10年の導入、発給対象者の拡大等）
	2月2日	ブラジル	数次ビザの滞在期間延長（90日・3年）（最長滞在期間90日）
	1月11日	インド	数次ビザ発給要件の大幅緩和（30日・5年） （訪日歴及びG7への渡航歴がある者は渡航費用支弁能力を確認する資料を省略等）

開始日		国名	緩和措置 (最長滞在・有効期間)
2015年	8月10日	モンゴル	数次ビザ導入（15日・3年）
	6月15日	ブラジル	数次ビザ導入（30日・3年）
	1月19日	中国	①商用目的、文化人・知識人数次ビザの緩和（90日・5年） （商用：訪日歴の要件撤廃、文化人・知識人：身元保証書等の省略） ②沖縄県・東北三県数次ビザの緩和（30日・3年） （過去3年以内に訪日歴のある者の経済要件緩和、家族のみの渡航可） ③相当な高所得者向け数次ビザの導入（90日・5年） （訪問地要件のない新しい数次ビザ、最長有効期間5年、家族のみの渡航可）
2014年	12月1日	インドネシア	IC旅券事前登録制によるビザ免除（15日・3年）
	9月30日	インドネシア、 フィリピン、ベトナム	数次ビザ発給要件の大幅緩和（30日・5年） （訪日歴及びG7への渡航歴がある者は渡航費用支弁能力を確認する資料を省略等）
	11月20日		指定旅行会社パッケージツアー参加者の申請手続き簡素化（15日）
	7月3日	インド	数次ビザ導入（15日・3年）
	1月15日	ミャンマー	数次ビザ導入（15日・3年）
2013年	11月25日	パプアニューギニア	数次ビザ導入（15日・3年）
	11月18日	カンボジア、ラオス	数次ビザ導入（15日・3年）
	10月15日	アラブ首長国連邦	数次ビザ導入（90日・3年）
	7月 1日	タイ	IC旅券ビザ免除（15日）
		マレーシア	IC旅券ビザ免除再開（90日）
		ベトナム、フィリピン	数次ビザ導入（15日・3年）
インドネシア		数次ビザの滞在期間延長（30日・3年）	